

DXに必要なスピード、敏捷性、信頼性を得るために

日立ソリューションズが提供する

# オブザーバビリティ

## モニタリングからオブザーバビリティへの進化

複雑さをさらに増幅

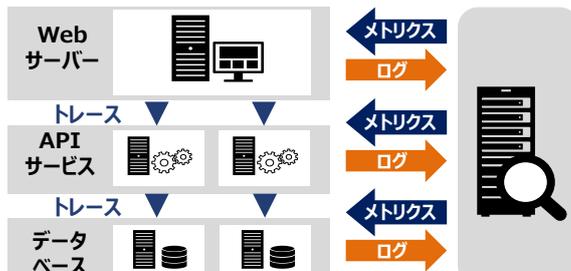
### モニタリング（従来の監視手法）



おかしいと認識できる点に**注視**する

課題を解決するために

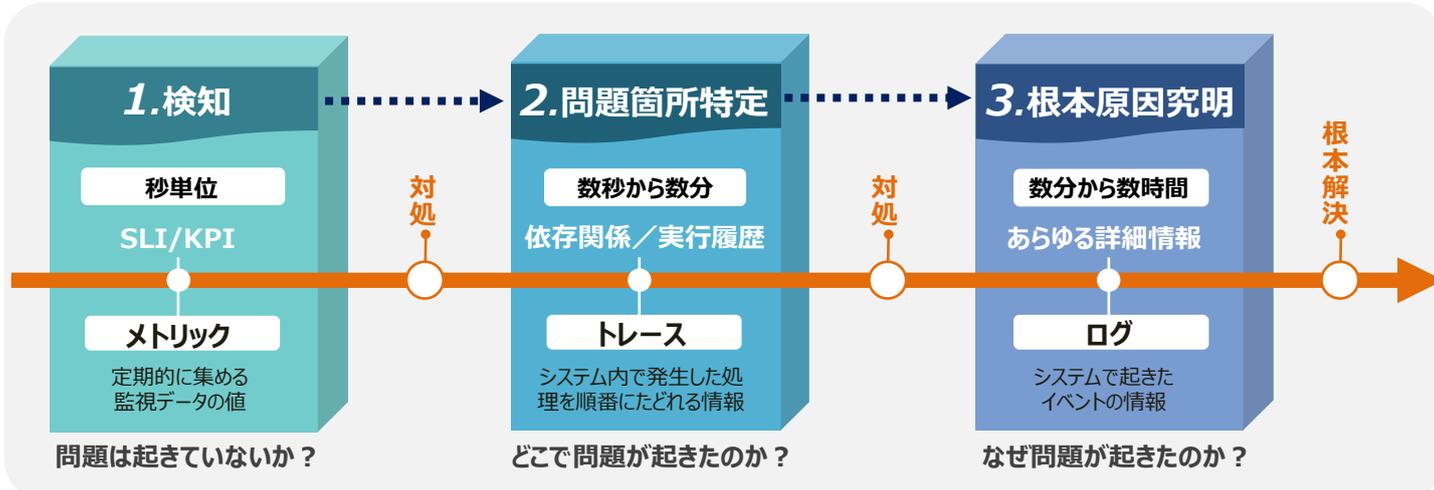
### オブザーバビリティ（可観測性）



予期せぬ事象を見つけ、それが**なぜ起こったのか**を解明する

## 可観測性を実現する三本柱

システムの観測性を高めることで、異常発生の原因究明と対処をより早く実施できます。



# システム監視運用上のお客さまの課題解決を全方位から支援！

## 従来のポイント型監視ツールの課題

### 活用可能なデータ取得の困難さ

簡単に始めるのは非常に困難で、多くのツールにおいて十分なガイダンスや柔軟性が提供されていない



### 多数の異なるツール

ユーザーは、モニタリング、イベント、管理、コラボレーション、データツールの間で、常に解釈の基準を切り替えており、そのたびに時間をロスし、後戻りする可能性がある



### クラウド従量課金の対応

適正にシステム運用することで、クラウドの利用料を低減することは可能だが、最適なコストの導出に時間を要する



## オブザーバビリティによる改善

### さまざまな情報を取り込んだ統合監視データ分析基盤

障害発生の予兆から検知し対策と原因究明をより早く実施



### マルチクラウド&ハイブリッド統合監視

統合的に監視しITサービスマネジメントツールと連携することでさらなる運用負荷を軽減



### コスト分析による最適なリソース配分

自動化ツールと連携し運用コストの削減に寄与



## オブザーバビリティに関する <日立ソリューションズ おすすめの5製品>

課題	製品
障害発生時に、全システムログを高速かつ簡易的に検索することで <b>障害の根本原因を特定したい</b>	1 インフラ、アプリケーション、UI全体の統合的な観測を実現する <b>「Splunk Observability Cloud」</b>
Webアプリケーションをリアルタイムに監視し、 <b>定量的な状況把握やトラブル時の迅速な問題切り分け</b> をしたい	2 Webパフォーマンスを監視・分析する <b>「AppDynamics」</b>
サービス遅延やレスポンス遅延など <b>ネットワークのボトルネック</b> を見つけたい	3 クラウドサービスをマルチレイヤーで可視化する <b>「ThousandEyes」</b>
クラウド含むシステム全体の <b>リソース・コストの可視化</b> をしたい	4 クラウドのコストを最適化・リソース状況を可視化する <b>「Turbonomic」</b> 、 <b>「CAST AI」</b>
オンプレ・クラウド環境の <b>障害把握漏れを防止</b> したい	5 業務に与えるビジネスインパクトをすばやく把握する <b>「JP1」</b>

オブザーバビリティ製品

関連製品

※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ  
www.hitachi-solutions.co.jp

本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報  
<https://www.hitachi-solutions.co.jp/operationsmanagement/sp/>

